

復活の喜びを伝える！

—キリスト復活の喜びを、どうして知らせないでいられよう

か。しかし、どのように知らせたらよいのだろうか。—

イズコ神父

キリスト信者は皆（東方教会も、プロテスタント教会もカトリック教会も）キリストの復活を信じています。それはキリスト教の信仰の中心ですから。たとえある点で（教会の組織や、典礼の方法や、司祭達の服装とか）が違っていても互いにあまり異なっていないと思います。5年前から私は、毎月牧師さん達と一緒に朝禱会に参加して、このことを確信しています。

確かに、キリストが復活されたと言う信仰はキリスト教の信仰の土台で、キリスト教は、その上に立っています。使徒パウロが書いているようにキリストが復活しなかったのなら、私たちの宣教は無駄であり、あなた方の信仰も無駄です。（一コリント 15, 14）復活のこの深い喜びから弟子達を始め、多くの人達は宣教するために力を得、殉教者として命を捧げました。そのように喜び一杯の最初のキリスト者の共同体が生まれてきました。その喜びを知らせるために、すぐ福音書が書かれました。そしてすぐ教会の中で日曜日（主の日）が初めてこの世界に生まれました。多くの人にその喜び、その福音を告げ知らせるために・・・。

しかし・・・今私達はどうすればいいのでしょうか。今の私達はどのようにその福音を生き、感謝の心で分かち合っていたらいいのでしょうか。一人一人に関わる質問ですが、ちょっと分かち合わせて下さい。

（1）イエス様を愛する人、深く愛する人がキリスト様のことを理解して伝えることが出来るのではないのでしょうか。誰でも熱心に伝えようとするのは、よく知って、愛している人についてではないのでしょうか。あなたはどこまでイエス様を知って、愛していますか。

（2）十字架を前にして怖じ気づかないように・・・。イエス様は私たちのために十字架を背負って行って下さいました。又、それぞれが背負べき十字架から逃れることの出来る人は誰もいませんが、担い方を選ぶことは出来ます。自分だけで十字架を担うか、キリストに従って、キリストと一緒に十字架を担うか・・・。

マザーテレサについての話を聞いたことがありますか。教皇様フランシスコは今年の9月4日にマザーテレサが列聖されると発表されたばかりです。私はこのニュースを姫路教会が取っている英字新聞で（3月16日付）読みました。新聞はシスターテレサがノーベル賞を受賞したことや国際的な人であることを褒めています、良い意味ではなく、人々にキリスト教を述べ伝えようとしたと書いています。マザーテレサに二度お会いした私は、それを読んで、少し腹立たしい思いをしました。彼女に出会って、彼女をよく知っている人も同

じように感じるでしょう。マザーテレサはこのように書いておられます。「私は、キリスト者としてキリスト教を愛しています。毎日祈っています。ヒンズー教の信者がよりよいヒンズー教徒になるように、仏教の信者も、イスラム教の信者もそれぞれの教えでよりよい仏教徒、イスラム教徒になりますようにと。」このような広い心、美しい心を持っている人に度々出会う事が出来るでしょうか。自分の喜びを見失っている人、探している人と分かち合うと言う心を答めることが出来るでしょうか。キリストが復活したと信じるキリスト者はその喜びを伝えてきました。隠してはいけません。謙遜に愛の技によって伝えましょう。マザーテレサのように。